

## 「お笑い芸人による進路講演会」

### 「みんなでつくる明日の只見」

8月28日、只見高校体育館で、只見高校生と只見中学生を対象に、新潟お笑い集団N.A.M.A.R.A（ナマラ）の森下英矢さんと金子ボボさんを講師に進路講演会「みんなでつくる明日の只見」が開かれました。

じゃんけん大会などを交えながら終始笑いの絶えない講演会となり、中・高校生も、笑いつつも真剣に話を聞いていました。

講師の二人は体験談を交えながら、「進路は本気になるのが大事。どんな進路を選んでも本気になるなら大丈夫。」とお話されました。



▲講師の森下さん(左)と金子さん(右)

## 「万が一に備える」

### 只見小学校「防犯訓練」

9月1日、只見小学校で、不審者が校内へ侵入してきた場合を想定した防犯訓練が実施されました。今回の訓練は、児童・教職員の安全確保、通報体制や避難・誘導体制の確認を目的として行われました。

防犯訓練後は、只見駐在所の玉川所長と加藤巡查長から児童へ向けて講話が行われ、「知らない人に声をかけられても付いていかない」、「何かあったら子どももふれ愛の家へかけこむ」など、自身を守る方法についてお話をさせていただきました。



▲真剣に話を聞く児童たち

## 「有害狩猟鳥獣捕獲隊」

### 町内有害鳥獣パトロール

今年度は例年にないく多くの鳥獣被害が発生しているため、只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊（以降捕獲隊）が日中パトロールや、鳥獣の追い払い駆除活動を行っています。

捕獲隊長の深津さん（大倉）は、「鳥獣が良く出没する場所などの情報提供をいただけるのとありがたいです。また、捕獲隊も人手不足が深刻なので、わな免許等の取得を目指す人が増えてくれると嬉しいです。最近クマの被害が近隣町村で増えているため、畑仕事等をする際は、音の出るものを身につけるなど対策をお願いします。」と話されました。



▲パトロール中、サルに遭遇し銃を構える深津さん

## 「地域連携の魅力を伝える」

### 只見高校体験入学

9月19日、県立只見高等学校の体験入学が行われ、県内各地から22名の入学希望者が参加しました。訪れた生徒は、授業参観や部活動見学を行い、高校生活へのイメージを膨らませていました。

生徒会長の堀金楓樺さんは、「地域の方々が見守ってくれて、保護者の方も安心して送り出してくれていると思います。イベントも多く、四季折々を楽しむことが出来る学校です。」とあいさつをしました。

今後は、県外の入学希望者向けにオンラインでの説明会を実施する予定です。



▲実際の授業の様子を覗く参加者

## 令和2年度只見町の新型コロナウイルス感染症対策事業を紹介します

国の第2次補正予算の成立に伴い追加配分される新型コロナウイルス感染症対応に係る地方創生臨時交付金などを活用し、只見町が現在実施している事業及び今後実施される予定の事業（9月時点）を紹介します。

### 【概要】

- 1 事業総額 490,192千円(うち、国庫支出金(地方創生臨時交付金) 249,892千円)
- 2 只見町が4月から実施している新型コロナウイルス感染症対策全事業(9月時点)

No	事業名(主な事業内容)	事業費 (千円)	実施時期
1	公共的空間安全・安心確保事業(スリッパ滅菌ロッカー、体温検知カメラ設置)	4,650	実施中
2	必要物品供給事業(マスク全戸配布)	6,497	完了
3	町立小中学校空間除菌装置整備事業(空気清浄器整備)	8,640	実施中
4	金利、保証料などの金融面での支援事業1(利子補給補助等)	19,500	実施中
5	金利、保証料などの金融面での支援事業2(利子補給補助)	3,052	実施中
6	飲食弁当事業者応援クーポン事業(町民一人あたり5,000円分給付)	24,620	実施中
7	地域の名産品魅力発信事業(ホームページ作成支援等)	500	実施中
8	公共的空間安全・安心確保事業(町内事業者支援)	10,000	実施中
9	各種相談・申請支援窓口開設事業(講師謝礼等)	310	実施中
10	プレミアム商品券発行事業(プレミアム商品券追加発行)	9,500	実施中
11	高校生を対象としたオンライン企業説明会(町負担金)	1,000	完了
12	福祉施設等におけるオンライン通信環境整備事業(Wi-Fi設置)	247	実施中
13	町内利用商品券発行事業(町民一人あたり20,000円分給付)	87,500	R2.11～
14	特別給付金給付事業(町民一人あたり30,000円給付)	126,600	R2.11～
15	町ホームページ防災対策事業(災害時等の情報発信強化)	3,635	実施中
16	防災活動支援事業(マスク、パーティションの設置など避難所の整備)	2,653	実施中
17	事業継続支援金給付事業(個人事業主、中小事業者支援)	30,000	実施中
18	生活支援給付金給付事業(収入が減少している従業員等支援)	50,000	実施中
19	公共的空間安全・安心確保事業(指定管理施設支援)	799	実施中
20	GIGAスクール端末整備事業(小・中学校の端末整備)	8,243	実施中
21	学校臨時休業対策事業費補助金(給食物資加工業者等支援)	385	実施中
22	社会体育施設安全・安心確保事業(町営体育館の換気用網戸の設置)	674	実施中
23	感染症対策備蓄品購入事業(マスク、防護服等の整備)	809	実施中
24	農林水産業経営継続給付金事業(農業経営者支援)	18,000	R3.2～
25	新生児への特別定額給付金給付事業(新生児支援)	2,500	R2.10～
26	自然首都・只見ふるさとときずな便助成事業(小包代金の一部助成)	14,720	R2.10～
27	移動スーパー等による地域の生活支援事業(移動販売車の貸与)	8,000	R2.10～
28	交流施設整備基本計画策定事業(湯ら里への新しい生活様式導入)	16,000	実施中
29	宿泊助成事業(宿泊事業者支援)	11,500	R2.11～
30	宿泊予約延期協力金(自粛要請に協力いただいた宿泊事業者支援)	2,500	R2.10～
31	新型コロナ対応インフルエンザ予防接種事業(費用負担)	17,158	R2.10～
	合計	490,192	

3 10月以降に実施を予定している主な事業を紹介します。

No  
13

**町内利用商品券発行事業 87,500 千円 (実施時期 令和2年 11月～)**  
外出自粛やインバウンド減少による需要減退等の影響を受けている町内商工事業者等を支援するため、町内限定で使用できる商品券を町民一人あたり 20,000 円分発行し、消費喚起による商業活性化を図る。

No  
14

**特別給付金給付事業 126,600 千円 (実施時期 令和2年 11月～)**  
今後も継続が想定される景気低迷による収入減や外出自粛での疲弊感を軽減し、町民生活を支援するため、町民一人あたり 30,000 円を給付する。

No  
25

**新生児への特別定額給付金給付事業 2,500 千円 (実施時期 令和2年 10月～)**  
国の特別定額給付金の基準日(4月27日)以降、令和2年度内に町内で出生した新生児に対し、一人あたり 100,000 円の特別定額給付金を給付する。

No  
26

**自然首都・只見ふるさときずな便助成事業 14,720 千円**  
(実施時期 令和2年 10月～)  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、町外で暮らす家族や友人などとの間で往来が慎重になるなどの状況が続いているため、町民が町外に居住している友人、知人、家族等へ町民の方々が生産された農産物や特産品、町内で購入された日用品などを送られる際に、小包代金の一部(1回あたり上限 1,500 円 5回まで)を助成する。

No  
27

**移動スーパー等による地域の生活支援事業 8,000 千円**  
(実施時期 令和2年 10月～)  
身近な商店等の減少により日常生活に必要な食料品、日用雑貨品等の購入が困難な地域が増加しているため、生活物資の移動販売を行う者に対し車両(4,000,000 円×2台分)を貸与し、買い物弱者の地域課題を解決するとともに、移動販売を行う事業者を支援することで店舗での販売による密を避けるなど新しい生活様式の導入を支援する。

No  
31

**新型コロナ対応インフルエンザ予防接種事業 17,158 千円**  
(実施時期 令和2年 10月～)  
新型コロナウイルスとインフルエンザの症状が類似しており、医療体制の確保を図る必要があることから、インフルエンザの流行に備えるため、町民のインフルエンザ予防接種費用の全額を補助し負担軽減を図る。

地球温暖化を考える

「キリバスと温暖化」開催



▲キリバスの伝統的の衣装でお話しをされたケンタロ・オノさん

9月15日、朝日小学校体育館で、町内小学生の4〜6年生を対象に、温暖化が引き起こす問題について危機感を持ち行動を起こすためのきっかけ作りを目的とした講演会「キリバスと温暖化」が開催されました。講演会では、講師のケンタロ・オノさんが、「キリバスという国では、地球温暖化で失われる思い出がある。地球のために何が出来るか考えて、身近なところから行動してほしい。」と伝えられました。また、児童は「地球温暖化を防ぐために出来ることから始めてみたい」と感想を話してくれました。



▲休憩時間に質問をする児童



▲ケンタロ・オノさんの話をメモに取る児童



▲説明会に参加した地域住民の皆さん

9月24日、只見振興センターで、只見柳津県立自然公園を越後三山只見国定公園として拡張することに伴う公園計画の見直しについて福島県自然保護課主催で説明会が実施された。次のことについて説明がありました。

- 現在の県立自然公園周辺の重要な自然環境を国定公園として拡張
- 保護規制の強化等（普通地域の一部↓特別地域へ移行等）
- 施設計画について（自然資源の適正利用のための施設配置等）

今後、環境省へ申出、省庁間協議等が行われ、令和3年度以降に国定公園計画見直し完了が予定されています。

越後三山只見国定公園計画見直し  
公園計画素案説明会実施



▲要望書を受取る宗像所長(右)と期成同盟会長(菅家町長)(左)

9月24日、期成同盟会長（只見町長）、副会長（亀岡区長）が、会員を代表して南会津建設事務所を訪問し、県道「小林館の川線」の早期整備を求める要望活動を行いました。

以前より幅員の狭さが指摘されている小林〜亀岡間の道路改良や、雪崩発生が報告されている荒島〜小川間の除排雪体制整備について、要望書を提出しました。

宗像南会津建設事務所所長は、「防災上の観点からもしつかり進めていきたい」と話され、要望内容についてご理解をいただきました。

県道小林館の川線改良促進期成同盟会  
整備促進について県に要望活動